

令和2年度

# 事業報告書・決算書

令和2年4月1日から  
令和3年3月31日まで

公益社団法人 日本アマチュアオーケストラ連盟

# 令和2年度事業報告書

自 令和2年4月1日  
至 令和3年3月31日

## 1. 運営の部

### (1) 理事会

- ① 令和2年度第1回通常理事会（書面決議による）  
理事会の議決があったとみなされた日：令和2年4月23日（木）
- ② 令和2年度第2回通常理事会（WEB会議による）  
開催日：令和3年2月27日（土）
- ③ 令和2年度第1回臨時理事会（WEB会議による）  
開催日：令和2年10月10日（土）

### (2) 社員総会

令和2年度定時社員総会（書面決議による）  
社員総会の議決があったとみなされた日：令和2年5月30日（土）

### (3) 青少年オーケストラ委員会役員会・総会（WEB会議による）

開催日：令和3年3月29日（月）

## 2. 事業の部

### (1) 2020 世界アマチュアオーケストラフェスティバル in Tokyo

（第48回全国アマチュアオーケストラフェスティバル東京大会）

令和2年6月5日（金）～6月7日（日） 於 東京芸術劇場

※新型コロナウイルス感染症の情勢を鑑み中止

### (2) 高円宮殿下メモリアル第21回日本マスターズオーケストラキャンプ

令和3年1月9日（土）～11日（月・祝） 於 京都府民ホール アルティ

※新型コロナウイルス感染症の情勢を鑑み中止

### (3) 第37回トヨタ青少年オーケストラキャンプ

令和3年3月25日（木）～28日（日） 於 東京音楽大学 他 全国5会場

※参加者が近隣の複数のサテライト会場に分かれて集合し、東京を拠点とした指揮者・講師からオンラインで指導を受ける、という方法で実施

※関連事業として令和3年6月1日（月）～7月31日（金）まで「トヨタ楽器の友だち Online レッスン」を実施

### (4) トヨタ自動車㈱との提携による「ココロハコブコンサート」の開催支援

### (5) 本連盟（JAO）のホームページ・Facebook を活用した広報活動事業

### (6) 「JAO 特別後援（メッセージ広告）」の運用開始

以上

令和2年度事業報告書

付 属 明 細 書

I. 運営の部

1. 各種会議及びその決定事項

開催年月日	会議名	項 目
令和2年4月23日 (理事会の議決があったと見なされた日)	令和2年度 第1回通常理事会 (書面決議による)	1. 平成31年度事業報告案並びに収支決算案を理事会承認、総会へ付議 2. 特定費用準備資金取扱規程の制定を承認 3. 令和2年度定時社員総会の開催方法について、書面決議へ変更することを承認
令和2年5月30日 (社員総会の議決があったと見なされた日)	令和2年度 定時社員総会 (書面決議による)	1. 平成31年度事業報告案並びに収支決算案を承認
令和2年10月10日	令和2年度 第1回臨時理事会 (WEB会議による)	1. JAO特別後援(メッセージ広告)実施案を承認 2. 「第50回全国アマチュアオーケストラフェスティバル」の開催地を決定 3. 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況の報告
令和3年2月27日	令和2年度 第2回通常理事会 (WEB会議による)	1. 令和2年度補正予算案を承認 2. 令和3年度定時社員総会の開催を決議 3. 令和3年度事業計画案並びに予算案を承認 4. 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況の報告 5. 各事業に関して担当理事より報告
令和3年3月29日	青少年オーケストラ 委員会役員会・総会 (WEB会議による)	1. 第37回キャンプ(東京を拠点とした全国6会場でのリモート開催)の開催状況報告 2. 第38回キャンプ(香川県開催)の開催計画検討 3. 第39回・40回の開催地検討

## 2. 社員の異動について

社員種別	員 数		増 減 数	備 考
	令和3年3月31日現在	令和2年3月31日現在		
正会員	134	133	1 会員増	

平成26年度より平成28年度まで微増してきた会員数は、平成29年度以降減少が続いている。平成31年度には3会員が退会したため前年度末の会員数は133団体であったが、令和2年度は、期初からの新規加盟団体1団体のほか期中の増減はなく、当年度末の会員数は134団体となった。

法人の管理運営費用を会費収入に依存している本連盟にとっては、会員の維持・獲得を今後も最重点課題として取り組んでいきたい。

## II. 事業の部

### 1. 全国フェスティバルの開催（中止）

「全国アマチュアオーケストラフェスティバル」は毎年全国各地を巡り開催する本連盟の主要事業。令和2年度は東京でのオリンピック・パラリンピック開催を契機に、未来につながる国際文化交流の実現を目指し、「2020 世界アマチュアオーケストラフェスティバル in Tokyo（第48回全国アマチュアオーケストラフェスティバル東京大会）」の開催を計画した。しかし、新型コロナウイルス感染症の情勢を鑑み、参加者・関係者および演奏会ご来場者の健康や安全面等を第一に協議した結果、令和2年4月10日に中止を決定した。中止にあたっては、事業費の支払いを抑制するためにできる限り務めたが、支払い済みの経費や契約上の負担金等、本連盟は一定の費用を支払うこととなった。

中止した開催計画の概要は以下のとおり。

名 称：2020 世界アマチュアオーケストラフェスティバル in Tokyo  
（第48回全国アマチュアオーケストラフェスティバル東京大会）

期 間：令和2年6月5日（金）～7日（日）  
※「フェスティバルコンサート」 6月7日

会 場：東京芸術劇場コンサートホール

演奏曲目 他：

- ① 特別出演【さくらこまち和楽団】（一般社団法人日本伝統芸術国際交流協会）
- ② JAO 東京オーケストラ  
（歓迎演奏、編成100名・JAO加盟の在京オーケストラ団員有志により編成）  
指揮：石川星太郎  
曲目：塩見康史／シンフォニエッタ「ミレニウム・プレリュード」（JAO委嘱作）
- ③ オーケストラ A（編成130名）  
指揮：田部井 剛  
コンサートマスター：佐久間聡一（広島交響楽団）  
曲目：D. ショスタコーヴィチ／「祝典序曲」  
L. ヤナーチェク／「シンフォニエッタ」

- ④ オーケストラ B (編成 130 名)  
 指揮：山下一史  
 コンサートマスター：大宮臨太郎 (NHK 交響楽団)  
 曲目：G.マーラー／交響曲第 5 番 嬰ハ短調
- ⑤ 国際交流イベント (演奏者以外の海外参加者 20 カ国 30 名と共に)
  - ・リーダーズカンファレンス
  - ・世界アマチュアオーケストラフォーラム

## 2. マスターズオーケストラキャンプの開催 (中止)

本キャンプの前途に大きな期待を抱かれていた前 JAO 総裁 故 高円宮殿下のご遺志を尊重し、名称に「高円宮殿下メモリアル」を冠した「日本マスターズオーケストラキャンプ (MOC)」は、令和 2 年度には第 21 回を数え、以下の内容での開催を計画していたが、新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、令和 2 年 12 月 16 日に開催中止を決定した。中止にあたっては、事業費の支払いを抑制するためにできる限り務めたが、支払い済みの経費や契約上の負担金等、本連盟は一定の費用を支払うこととなった。中止した開催計画の概要は以下のとおり。

名 称：高円宮殿下メモリアル第 21 回日本マスターズオーケストラキャンプ  
 期 間：令和 3 年 1 月 9 日 (土) ～ 11 日 (月・祝)  
       ※「初春コンサート」(無観客) 1 月 11 日  
 会 場：京都市 京都府立府民ホール「アルティ」  
 研修曲目：ヴォーン・ウィリアムズ／「トマス・タリスの主題による幻想曲」  
               コンチェルト・グロッソ  
               ベートーヴェン／交響曲第 8 番 (弦楽合奏版)  
 講 師：井野邊大輔 (ヴィオラ・アンサンブル指導)、三又治彦 (ヴァイオリン)、  
       栗辻 聡 (指揮)

## 3. 青少年オーケストラキャンプの開催

### トヨタ楽器の友だち Online レッスン

「トヨタ青少年オーケストラキャンプ (TYOC)」は全国から集まった青少年が「自分たち自身の手による運営」をモットーに演奏技術を学ぶ合宿研修会で、2 年を 1 期とし、2 年目には特別演奏会を開催し成果を発表している。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大の状況悪化のため、平成 31 年度 (令和 2 年 3 月) に開催を予定していた第 36 回 TYOC は中止を余儀なくされた。そこで、中止した TYOC の代替として、主に第 36 回 TYOC 参加予定者を対象に、Zoom を利用して TYOC 講師陣が個人レッスンを行う「トヨタ楽器の友だち Online レッスン」を実施した。

名 称：トヨタ楽器の友だち Online レッスン  
 期 間：令和 2 年 6 月 1 日 (月) ～ 7 月 31 日 (金)  
 講 師：TYOC 講師 (パート毎に 1～2 名、計 17 名のプロ奏者)  
 受講生：75 名  
 レッスン総数：延べ 211 (受講生 1 名が 2 ～3 回受講)

## 第 37 回トヨタ青少年オーケストラキャンプ (TYOC)

令和 2 年度の TYOC は、新型コロナウイルス感染症収束の見込みが立たないため、従来同様に 3 泊 4 日の合宿研修会を香川県高松市に於いて開催する企画と、全国各地に設置したサテライト会場に参加者が日帰りで集合し、講師が居る会場とオンラインでつないでレッスンを実施する企画を、参加者募集の段階から並行して準備をすすめた。

しかしながら令和 3 年 1 月を迎えてもなお感染症の拡大状況が継続していたため、1 月 26 日をもってサテライト会場形式での開催を決定した。開催の概要は以下のとおり。

名 称：第 37 回トヨタ青少年オーケストラキャンプ

期 間：令和 3 年 3 月 25 日（木）～ 28 日（日）

会 場：香川県高松市、東京都豊島区、愛知県豊橋市、島根県松江市、鹿児島県鹿児島市  
沖縄県中頭郡中城村

曲 目：チャイコフスキー／弦楽セレナーデ

ホルスト／吹奏楽のための第一組曲

ファリャ／バレエ音楽「三角帽子」

指 揮 者：現田茂夫（神奈川フィルハーモニー管弦楽団 名誉指揮者）

講 師：パート毎に 1～2 名、計 17 名のプロ奏者

参加者数：99 名

※「花は咲く」企画

第 37 回 TYOC はサテライト会場形式という変則的な方法での開催となったため、①参加者同士が繋がりを感じられる企画をしたい、②東日本大震災から 10 年、③新型コロナウイルスを乗り越えよう という 3 つの目的から、各サテライト会場にて「花は咲く」を演奏し、演奏の様子を撮影した動画を集めて、一つの映像作品を作る「花は咲く」企画を実施した。動画の完成は令和 3 年度上期、YouTube での公開を計画している。

## 4. 広報活動事業

「トヨタコミュニティコンサート」の開催支援

「トヨタコミュニティコンサート」(TCC) は、“音楽を通じて地域文化の振興に貢献すること”を目的に、トヨタ自動車株式会社並びに各地域のトヨタ販売会社グループと連携し、JAO 加盟のオーケストラの公演を支援して開催される演奏会で、公演回数は昭和 56 年の第 1 回開催から 1717 回を数える。

令和 2 年度はリニューアル検討期間として、令和 3 年度より以下の方式により再開することを決定し、募集を開始した。

A 企画提案コース①・・・三枝音楽監督提案型

三枝音楽監督が企画するコンサートにチャレンジするコース

B 企画提案コース②・・・JAO 提案型

JAO が提案する指揮者・ソリスト等と共演するコース

C 自由裁量コース・・・アマチュアオーケストラ起案の自由公演

次の重点テーマに沿った企画によるコンサートを開催するコース

- ・地域課題解決
- ・ダイバーシティ&インクルージョン
- ・SDGs

D 販売店コース・・・販売店起案の地域での公演

地域のトヨタ販売店からの起案により、対象地域のアマチュアオーケストラが協力してコンサートを実施するコース

令和3年1月31日に、令和3年度の「C 自由裁量コース」の33公演と、詳細は未定だが「D 販売店コース」数公演の開催を決定した。

「JAO 特別後援（メッセージ広告）」の運用開始

令和2年度は、元々開催予定のないトヨタコミュニティコンサート（TCC）に加え、「全国アマチュアオーケストラフェスティバル」や「マスターズオーケストラキャンプ（MOC）」をやむなく中止したことにより、前年度末から例年の会員向け事業はほとんど実施しないこととなった。

このような状況を鑑み、停滞した会員サービスを補い、会員の演奏活動再開を応援するために、「JAO 特別後援（メッセージ広告）」の実施を企画し、以下のとおり運用を開始した。

実施期間：令和2年11月1日から令和5年3月31日開催分まで

対 象：各会員が令和2年11月1日以降最初に開催する会員主催の演奏会

広告内容：演奏会パンフレットに次のメッセージを掲載する

「(公社) 日本アマチュアオーケストラ連盟は (団体名) を応援しています」

広 告 料：1件 3万円

申 請 数：43団体（令和3年3月31日現在）

支払件数：27団体（令和3年3月31日現在）

以上

## 貸借対照表

(令和3年3月31日現在)

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
<b>I 資産の部</b>			
流動資産			
現金預金	1,962,861	5,968,177	▲ 4,005,316
未収金	6,114,000	334,000	5,780,000
前払金	0	920,887	▲ 920,887
流動資産合計	8,076,861	7,223,064	853,797
固定資産			
基本財産			
基本財産積立預金	44,400,000	44,400,000	0
基本財産合計	44,400,000	44,400,000	0
特定資産			
特定費用準備資金	2,000,000	6,000,000	▲ 4,000,000
特定資産合計	2,000,000	6,000,000	▲ 4,000,000
その他の固定資産			
什器備品	9	9	0
敷金	617,924	617,924	0
その他の固定資産合計	617,933	617,933	0
固定資産合計	47,017,933	51,017,933	▲ 4,000,000
資産合計	55,094,794	58,240,997	▲ 3,146,203
<b>II 負債の部</b>			
流動負債			
未払金	283,947	0	283,947
預り金	424,488	26,520	397,968
流動負債合計	708,435	26,520	681,915
負債合計	708,435	26,520	681,915
<b>III 正味財産の部</b>			
指定正味財産	46,400,000	50,400,000	▲ 4,000,000
(うち基本財産への充当額)	(44,400,000)	(44,400,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(2,000,000)	(6,000,000)	(▲4,000,000)
一般正味財産	7,986,359	7,814,477	171,882
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	54,386,359	58,214,477	▲ 3,828,118
負債及び正味財産合計	55,094,794	58,240,997	▲ 3,146,203

正味財産増減計算書

(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

(単価：円)

科 目	当年度	前年度	増 減	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用益	7,553	4,741	2,812	
基本財産受取利息	7,553	4,741	2,812	定期預金利息
② 受取入会金	30,000	30,000	0	
受取入会金	30,000	30,000	0	新規1会員
③ 受取会費	8,450,000	8,700,000	▲250,000	
正会員受取会費	6,650,000	6,750,000	▲100,000	133会員
賛助会員受取会費	1,800,000	1,950,000	▲150,000	19会員
④ 事業収益	1,584,000	12,746,410	▲11,162,410	
公1事業収益	1,584,000	12,746,410	▲11,162,410	広告料 等
⑤ 受取補助金等	12,679,000	17,108,000	▲4,429,000	
受取地方公共団体補助金	0	3,600,000	▲3,600,000	
受取民間助成金	8,679,000	13,508,000	▲4,829,000	トヨタ自動車、日本芸術文化振興会
受取補助金等振替額	4,000,000		4,000,000	特定費用準備資金より
⑥ 受取寄付金等	7,000,000	0	7,000,000	
受取寄付金	7,000,000		7,000,000	
⑦ 雑収益	130,122	175,193	▲45,071	
受取利息	122	193	▲71	
雑収益	130,000	175,000	▲45,000	
経常収益計	29,880,675	38,764,344	▲8,883,669	
(2) 経常費用				
① 事業費	25,652,607	33,614,925	▲7,962,318	
役員報酬	2,880,000	2,880,000	0	
給料手当	3,840,000	3,840,000	0	
臨時雇用賃金	290,000	360,000	▲70,000	
法定福利費	750,613	748,285	2,328	
福利厚生費	56,732	5,998,173	▲5,941,441	
会議費	6,910	172,996	▲166,086	
旅費交通費	250,071	3,788,003	▲3,537,932	
通信運搬費	806,094	707,863	98,231	
消耗品費	532,866	1,108,534	▲575,668	
印刷製本費	233,388	1,249,640	▲1,016,252	
光熱水料費	144,557	156,458	▲11,901	
賃借料	6,300,684	8,110,173	▲1,809,489	
保険料	7,952	0	7,952	
諸謝金	7,295,205	3,386,927	3,908,278	
広報費	1,887,506	416,840	1,470,666	
雑費	370,029	691,033	▲321,004	

科 目	当年度	前年度	増 減	備 考
② 管理費	4,056,186	6,152,874	▲2,096,688	
役員報酬	720,000	720,000	0	
給料手当	960,000	960,000	0	
法定福利費	187,653	187,071	582	
福利厚生費	67,200	66,600	600	
会議費	0	774,257	▲774,257	
旅費交通費	17,840	1,332,760	▲1,314,920	
通信運搬費	215,566	261,145	▲45,579	
消耗品費	100,781	111,313	▲10,532	
印刷製本費	247,500	243,000	4,500	2020年度版JA0関係資料
光熱水料費	36,137	39,113	▲2,976	
賃借料	711,869	715,537	▲3,668	
保険料	5,880	5,880	0	
租税公課	352,200	247,300	104,900	
雑費	433,560	488,898	▲55,338	
経常費用計	29,708,793	39,767,799	▲10,059,006	
当期経常増減額	171,882	▲1,003,455	1,175,337	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	171,882	▲1,003,455	1,175,337	
一般正味財産期首残高	7,814,477	8,817,932	▲1,003,455	
一般正味財産期末残高	7,986,359	7,814,477	171,882	
II 指定正味財産増減の部				
受取補助金等	0	4,000,000	▲4,000,000	
受取寄付金	0	2,000,000	▲2,000,000	
一般正味財産への振替額	▲4,000,000		▲4,000,000	
当期指定正味財産増減額	▲4,000,000	6,000,000	▲10,000,000	
指定正味財産期首残高	50,400,000	44,400,000	6,000,000	
指定正味財産期末残高	46,400,000	50,400,000	▲4,000,000	
III 正味財産期末残高	54,386,359	58,214,477	▲3,828,118	

正味財産増減計算書 内訳表

(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

(単価：円)

科 目	公益事業会計 (公1事業)	法人会計	合 計
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	7,553	0	7,553
基本財産受取利息	7,553	0	7,553
② 受取入会金	0	30,000	30,000
受取入会金		30,000	30,000
③ 受取会費	0	8,450,000	8,450,000
正会員受取会費		6,650,000	6,650,000
賛助会員受取会費		1,800,000	1,800,000
④ 事業収益	1,584,000	0	1,584,000
事業収益	1,584,000		1,584,000
⑤ 受取補助金等	12,679,000	0	12,679,000
受取民間助成金	8,679,000		8,679,000
受取補助金等振替額	4,000,000		4,000,000
⑥ 受取寄付金等	7,000,000	0	7,000,000
受取寄付金	7,000,000		7,000,000
⑦ 雑収益	130,000	122	130,122
雑収益	130,000	0	130,000
経常収益計	21,400,553	8,480,122	29,880,675
(2) 経常費用			
① 事業費	25,652,607		25,652,607
役員報酬	2,880,000		2,880,000
給料手当	3,840,000		3,840,000
臨時雇用賃金	290,000		290,000
法定福利費	750,613		750,613
福利厚生費	56,732		56,732
会議費	6,910		6,910
旅費交通費	250,071		250,071
通信運搬費	806,094		806,094
消耗品費	532,866		532,866
印刷製本費	233,388		233,388
光熱水料費	144,557		144,557
賃借料	6,300,684		6,300,684
保険料	7,952		7,952
諸謝金	7,295,205		7,295,205
広報費	1,887,506		1,887,506
雑費	370,029		370,029

科 目	公益事業会計 (公1事業)	法人会計	合 計
② 管理費		4,056,186	4,056,186
役員報酬		720,000	720,000
給料手当		960,000	960,000
法定福利費		187,653	187,653
福利厚生費		67,200	67,200
旅費交通費		17,840	17,840
通信運搬費		215,566	215,566
消耗品費		100,781	100,781
印刷製本費		247,500	247,500
光熱水料費		36,137	36,137
賃借料		711,869	711,869
保険料		5,880	5,880
租税公課		352,200	352,200
雑費		433,560	433,560
経常費用計	25,652,607	4,056,186	29,708,793
当期経常増減額	▲4,252,054	4,423,936	171,882
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	3,000,000	▲3,000,000	0
当期一般正味財産増減額	▲1,252,054	1,423,936	171,882
一般正味財産期首残高	1,445,999	6,368,478	7,814,477
一般正味財産期末残高	193,945	7,792,414	7,986,359
II 指定正味財産増減の部			
一般正味財産への振替額	▲4,000,000		▲4,000,000
当期指定正味財産増減額	▲4,000,000		▲4,000,000
指定正味財産期首残高	50,400,000		50,400,000
指定正味財産期末残高	46,400,000		46,400,000
III 正味財産期末残高	46,593,945	7,792,414	54,386,359

## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

- (1) 固定資産の減価償却の方法  
有形固定資産は、定額法により償却する。ただし、取得した翌年度より償却を開始する。
- (2) 消費税等の会計処理  
消費税及び地方消費税の会計処理は税込方式を採用している。

### 2. 会計方針の変更

変更なし 「公益法人会計基準」(平成21年10月16日改正 内閣府公益認定等委員会)を適用

### 3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前 期 末 残 高	当 期 増 加 額	当 期 減 少 額	当 期 末 残 高
基本財産				
定期預金	44,400,000	0	0	44,400,000
小 計	44,400,000	0	0	44,400,000
特定資産				
普通預金	6,000,000	0	4,000,000	2,000,000
小 計	6,000,000	0	4,000,000	2,000,000
合 計	50,400,000	0	4,000,000	46,400,000

### 4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当 期 末 残 高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
定期預金	44,400,000	(44,400,000)	(0)	(0)
小 計	44,400,000	(44,400,000)	(0)	(0)
特定資産				
公1事業積立預金	2,000,000	(2,000,000)	(0)	(0)
小 計	2,000,000	(2,000,000)	(0)	(0)
合 計	46,400,000	(46,400,000)	(0)	(0)

### 5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取 得 価 額	減 価 償 却 累 計 額	当 期 末 残 高
什器備品	4,301,862	4,301,853	9
合 計	4,301,862	4,301,853	9

### 6. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の残額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の残額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
受取民間助成金	民間企業	0	6,000,000	6,000,000	0	—
受取民間助成金	民間企業	0	2,000,000	2,000,000	0	—
受取民間助成金	(独)日本芸術文化振興会	0	679,000	679,000	0	—
受取民間助成金	民間企業	4,000,000	0	4,000,000	0	指定正味財産
受取寄付金	民間企業	0	7,000,000	7,000,000	0	—
受取寄付金	個人からの遺贈	2,000,000	0	0	2,000,000	指定正味財産
合 計		6,000,000	15,679,000	19,679,000	2,000,000	

### 7. 指定正味財産から一般正味財産への振替

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
目的達成による指定解除額	4,000,000
合 計	4,000,000

# 財 産 目 録

(令和3年3月31日現在)

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額	
(流動資産)	現金	手元保管	運転資金として	60,018	
	預金	普通預金	運転資金として		
		三菱UFJ銀行豊橋支店		1,791,335	
		十六銀行豊橋支店		10,882	
		三井住友銀行豊橋支店		25,676	
		静岡銀行豊橋支店		24,787	
	みずほ銀行豊橋支店		50,163		
	未収金		TYOC、TCC	6,114,000	
流動資産合計				8,076,861	
(固定資産)	基本財産	定期預金	公益目的事業に不可欠な特定の財産		
				三菱UFJ銀行豊橋支店	10,000,000
				十六銀行豊橋支店	10,000,000
				三井住友銀行豊橋支店	10,000,000
				静岡銀行豊橋支店	10,000,000
				みずほ銀行豊橋支店	4,400,000
	特定資産	預金	普通預金	公1事業の財源として使用	
			三菱UFJ銀行豊橋支店		2,000,000
	その他固定資産	什器備品	保管庫・机・椅子等		9
		敷金	事務所（光陽ビル）敷金		617,924
固定資産合計				47,017,933	
資産合計				55,094,794	
(流動負債)	未払金		TYOC経費	283,947	
	預り金		給与・報酬の源泉徴収税額	424,488	
流動負債合計				708,435	
負債合計				708,435	
正味財産合計				54,386,359	